

まち育新聞

第14号

〈発行所〉
総務部まちづくりグループ
政策担当
美幌町字東2条北2丁目
TEL73-1111

美幌130年事業を振り返って

美幌130年祭

戸長役場が開場した記念日である10月12日に、戸長役場跡地(旧ユースホステル敷地内)で記念式典を開催しました。

当日は小雨が降る肌寒い空模様でしたが、来賓が到着する頃には雨も上がり、静謐な雰囲気の中で厳かに開始されました。

先人たちに感謝をささげ、これからの美幌の発展を祈願するとともに、これからの未来に向かってより一層の歩みを決意する日となりました。

昨年、平成29年10月12日に、美幌町は130年を迎えました。130年という長い歴史には、先人たちの開拓の苦勞、発展への願い・喜びが込められており、それらが今日の美幌町の礎となっています。そしてこれらの歴史・思いは、親から子へ、子から孫へと受け継がれ、限りない未来へとつながっていきます。平成29年度は美幌130年の祝賀の年として、様々なイベントや事業が行われましたので、その一部を紹介します。



美幌130年記念ロゴマーク



一般の部・最優秀賞作品

子どもの部・最優秀賞作品

また、美幌町内のNPO法人「元氣プロジェクト」が、「ロゴマークが多くの人の目に触れるように」と美幌130年記念ロゴマークの旗2枚を町に寄贈され

ました。平成29年度は、この旗を公共施設やイベント会場などに掲げ、広報びほろや町の封筒にもロゴマークを使用し、美幌130年をPRしております。



あなたの街とファイターズ「北海道スマイルキャラバン」

美幌町の夏の風物詩である夏まつりが、130年を記念して北海道日本ハムファイターズとコラボイベントを開催しました。2日間の日程で開催され、場内にはマスコットキャラクターのB・B、ポリー、フレップが集合し、ダンスにクイズにスポーツにと大活躍でした。



その他、ファイターズガールの華やかな演出、数多くのファイターズイベントとプレゼントグッズ、「美幌のうた」完成に伴うTRIPLANEの生ライブなど、絶え間ないイベントにより多くの来場者がありました。そして名物の花火大会は「美幌のうた」に乗せて夜空を彩り、大盛況で幕を閉じました。

onちゃんダンス&onちゃん体操 公開収録

朝の報道番組HTB「イチオシ! モーニング」の視聴者参加型ダンス・体操を



撮影し、テレビで放映されました。大人気マスコットの「onちゃん」が駆けつけ、美幌130年記念旗と綺麗な景色を背景に、合計3チームが元氣よくダンスを披露しました。撮影では、見学者に飛び入りで参加してもらったり、偶然居合わせた町長に出演を促していたりするなど、賑やかな撮影現場となりました。テレビには美幌130年のテロップをつけ、記念日である10月12日に放映するなど、HTB協力のもと、全道放送にて美幌130年をPRできました。

NHK公開録音「真打ち競演」



美幌130年・びほろ開館5周年記念事業として、NHK北見放送局との共催により、9月2日(出)びほろにおいて、NHK公開録音「真打ち競演」を開催しました。普段テレビ番組等で活躍している芸人4組によるコントやギター漫談のほか、三遊亭笑遊師匠と柳家さん喬師匠による落語が披露され、満席の客席からは何度も大きな笑いの渦が巻き起こっていました。



ケンブリッジ訪問団交流パーティー



アイヌ文化交流会

友好姉妹都市との記念行事

美幌町とケンブリッジ市(ニュージールランド)は、平成9年10月12日に友好姉妹都市提携をして今年で20周年を迎えました。友好姉妹都市提携20周年の記念と美幌130周年を祝し、ジム・ミルクリースト首長をはじめ

高校生模擬議会

選挙権が18歳以上に引き下げられたこともあり、もつと身近に町政を感じてもらおうよう、高校生模擬議会を平成30年1月27日(土)に開催しました。選出された美幌高校生議員は、3年生4人、2年生4人、1年生6人の計14人。議長は前後半に分けて2名が選出されました。

一般質問については、高校で全校生徒アンケートを実施し、それを元に関心の高い事項を取り上げていきました。顔を正面に向け大きな声で発言する高校生議員は、未来を担う若者としてとても立派な姿でした。どの質問も今後のまちづくりの参考になるもので、これが見つけかけとなり事業が促進されたものもあるなど、非常に実りのある模擬議会となりました。

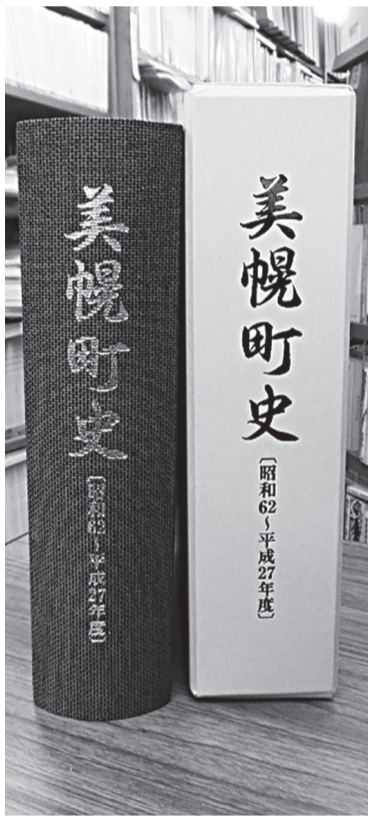
美幌町史発刊

美幌130年事業の一環として、平成26年度から編さんを進めてきました美幌町史がこのほど完成いたしました。この新町史は、前町史「美幌町百年史」以降の昭和62〜平成27年度までの史実をまとめたものとなっております。これまで、大正4年発刊の「美幌村誌」をはじめ、節目の年にあわせて計5冊を発刊しています。全冊とも美幌町図書館で閲覧可能ですので、新町史の発刊を契機にこれまで先人たちが築いてきた歴史と

めとするケンブリッジ訪問団10名が、平成29年10月10日から10月14日までの5日間美幌町に滞在しました。滞在期間中訪問団は町への表敬訪問、町内施設の視察、アイヌ文化交流などを行い、12日に開催された美幌130年祭式典にも参列され、ジム首長が訪問団を代表し献花を行いました。また、12日夜には友好姉妹都市提携20周年パーティーが開催され、これまでケンブリッジ市と交流された方などを迎え20年の交流を祝福しました。



文化を振り返ってみてはいかがでしょう。



新町史は、A5版、巻頭カラー18P、総ページ1、27Pの収納箱入りです。前町史よりも字が大きく大変読みやすくなっております。発刊された新町史は、美幌町図書館や役場情報コーナーで読むこともできます。詳しくは、4月広報又は町ホームページでご確認いただくか、役場総務部まちづくりグループ政策担当(☎73・1111(223・299))までお問い合わせください。

びほろボランティア

美幌手話の会

「ピポロ」の活動をご紹介します



ふれあい広場にて

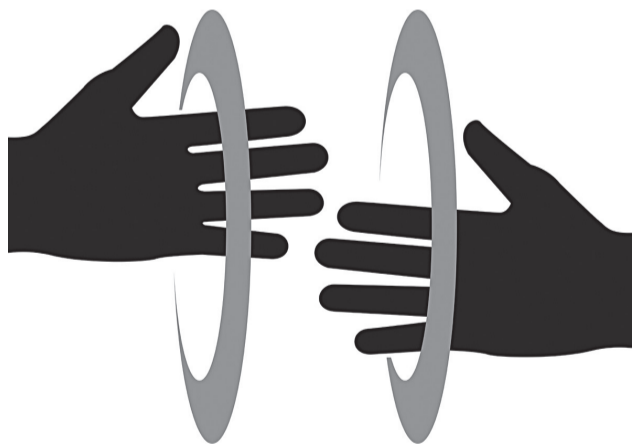
手話を楽しみながら学びましょう

今回は

ピポロは20年前の平成10年10月に発足し、聴覚障がい者(耳の聞こえない方々)のコミュニケーションの一つである手話を学習しているサークルです。

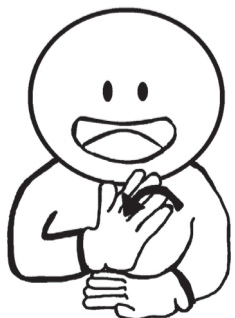
美幌の町議会では「手話言語法の早期制定を求める要望意見書」が平成14年6月26日に決議されました。(道内全市町村が採択)現在北海道では、16の市町(石狩市、新得町、鹿追町、名寄市、札幌市など)及び道で手話言語条例が成立(平成30年3月20日現在)し、手話の輪が地域に広まりつつあります。現在は2人の指導者と15人(15歳〜70歳)の会員により、マナビティセンター2階で毎週月曜日(祝祭日を除く)午後7時から約2時間、楽しく学習をしています。

美幌手話の会「ピポロ」では、未経験の方でも大歓迎です。どなたでもお気軽に見学に来て下さい。会員一同心からお待ちしています。



『手話ができる人がいます』という表示

活動内容は手話の学習を中心とし、ふれあい広場への参加、美幌町民初級手話講座の開催、地域の行事への参加、サークルの行事として花見(パーベキュー)、クリスマスパーティー、新年会、ボウリング等を行います。手



『びほろ』という意味の手話

連絡先事務局・石橋 藤雄
090・1607・6803